

平成 23 年度 第 2 回常任委員会議事録

1. 期 日；平成 24 年 2 月 10 日（金）
2. 会 場；神奈川県横浜市・波止場会館
3. 出席者；濱谷、高田、釜井、池田(博)、高橋、池田(恭)、安藤、磯部、豊田、松本、山西、根岸、伊勢、恒松、諸江、森、村田、市ヶ谷

4. 議事

1. 挨拶；全国高体連 F 部長（濱谷）

2. 大会運営

①第 36 回全国選抜大会(愛知大会)について（豊田）

- ・日程、参加申込の確認
- ・宿泊について…役員はセントレア、審判は別ホテルとなる

②平成 24 年度全国総体(富山大会)について（釜井）

- ・準備は順調に進んでいる
- ・エコイベント実施のため、駐車場の無料は無くなる

③第 37 回全国選抜大会(長崎大会)について（根岸）

- ・日程、会場について説明あり

④36 回選抜大会プログラム抽選会

1. 詳細説明（豊田）

- ・会議日程、試合日程、競技について説明あり
- ・競技日程表の女子は、男子と同じタイムテーブルに訂正
- ・用具検査について
- マスクの新ルールについては、「監督のみさんへ」の中に記載する
- ・検査証はすべて昨年度群馬大会のものを使用するため、大会名称等が異なる
- ・ピスト番号の訂正
- 5 ピストを予備ピスト 1 に、10 ピストを予備ピスト 2、6～9 ピストを 5～8 ピストに変更する ☆競技日程表のピストも同様に変更
- ・練習会場について…定期往復バスを出す予定
- ・式典について
- ・宿泊・救護について
- ・競技役員について
- ピスト指導員に、安藤、池田(恭)を追加
- ・競技会場図について…ピスト番号の変更あり
- ・二階応援席の配置について
- 県別応援席を地区別に変更する
- ・準決勝、決勝ピストについて
- 準決勝は、男子 1 ピスト・女子 3 ピストに。決勝は、男子 3 ピスト・女子 7 ピストに変更

2. プログラム抽選

- ・抽選規定に従い厳正に抽選が終了する

3. 報告事項

①平成 23 年度行事報告（瀨谷）

- ・各大会、部報、後援行事、会議、強化普及事業について説明あり

②第 2 回競技委員会報告（伊勢）

- ・愛知選抜大会、富山総体、長崎選抜大会、大分総体、フリーズについて、リレー方式等についての協議報告あり

③強化普及委員会報告（諸江）

- ・今年度の実施状況について報告あり

④後期全国高体連報告（瀨谷・釜井）

- ・外国人留学生問題について説明あり

⑤後期日本協会報告（釜井）

- ・国体改革進捗状況について説明あり

4. 競技事項

①24 年度行事予定案について（瀨谷）…承認

- ・25 年度選抜大会開催地は、秋田県美里町で調整・準備を進めている。

②競技委員会提案事項（伊勢；別紙資料あり）…承認

1. リレー方式の導入について

案 予選プールは、実働 2 分 1 試合 45 分 8 ピスト展開で長崎選抜より実施したい。2 名の参加については、様々な問題があるため認めない。決勝トーナメントは実働 3 分で実施する。

補足；タイムテーブルでは、終了時刻が 18 時となっているが、無意欲試合を厳密に取りつたり、予備ピストを使用することで実際の終了時間はもっと早く出来ると考えている

- ・試合途中で棄権が出た場合の対応は？

→プール戦の途中で棄権が出た場合は、プール戦 1 試合目から出場していなかった事とする
→同一プールから 2 校以上棄権が出た場合は、上位 2 校が決勝に進出する事になっているので、残った 2 校が決勝トーナメント進出校となる。3 校以上棄権が出た場合は、残った 1 校が決勝トーナメントに進出する。決勝トーナメントは 15 校の進出となり、3 校以上棄権が出たプールの進出校は、記録が無くなるため 15 番目とする。

- ・競技終了時間のリミットはないのか？

→基本的に高校生を使う以上 17 時までには終了するのが望ましい。19 時、20 時まで拘束することは難しい。会場によって設置できるピスト、開場時間が異なるので状況に応じ、検討していきたい。

- ・棄権校が出た場合の試合進行はどうなるのか。

→インターハイ同様に、ピスト変更をして空きピストに入れてゆくことになる

- ・上がりが決まったプールの残り試合は、やらなくても良いのではないかという意見もある

2. 北海道・東北ブロックについて（統合 5 年目の報告）

- ・両ブロックが統合され 5 年が経過した。2 年後の北海道・東北選抜大会の会場が北海道になることについて、東北高体連は海を越えての出場を認めないと決定。そのため、北海道としては、北海道高体連を通じて 7 年に 1 回の北海道開催年は選抜推薦権を自動的に 1 枠認める案を提示した。それ以外の年は、北海道代表が東北の開催県に行くことになる。

③強化普及委員会提案事項（諸江）…承認

- ・24年度指導者研修会について説明あり

④その他

1. 北海道・東北ブロック統合5年目の経過報告（池田博）…競技委員会提案事項で検討済み

2. 総務委員会提案

案 F 専門部での携帯電話加入について

- ・審判の依頼や参加校への問い合わせなどは、各担当者が通信費を負担しているのが現状である。これを専門部携帯2台または3台加入すれば、通信費で予算計上でき、個人負担をなくすことが出来る
- ・プリペイド携帯の使用を検討してみてはどうかという意見が出される

※携帯電話を専門部で持つことに関しては、承認される。加入携帯電話とするかプリペイド携帯とするかは今後検討する

案 F 専門部での無線機購入について

- ・現在、各大会で使用している無線機は専門部役員が使うために開催地へお願いして用意していただいている。無線機を専門部で持てば、開催地の負担減となる。

補足;通常レンタルした場合1大会5万円程かかっている。年2大会なので10万円となる。

購入した場合は、1台5万円程度で、10台で50万円、5年でペイできる計算となる。

※無線機を購入することを了承。購入に関しては担当に一任する

3. 東日本大震災支援金処理報告（濱谷）

- ・昨年9月に被災4校へ43,000円を送金したとの報告あり。4校からお礼の連絡があった

4. 繰越金の還元について（根岸）

- ・繰越金が300万を超えるため、今後どのように還元するかを検討していきたい。何か良い案があれば出して欲しい

案 高校生が日本代表選手になった場合の補助金を出してはどうか

案 大会開催に必要な機材（ピストや審判器など）の購入に当ててはどうか

※今後、いろいろな案について検討して行く

⑤平成24年度収支予算書について（根岸）…承認

- ・資料の各項目について説明あり
- ・無線機の購入金も予算に計上する

⑥濱谷部長、高田副部长退任に伴う役員改選について

- ・地区常任委員と部長指名常任委員で合議し、新部長に釜井副部长を推薦すること、副部长については新部長に一任することを決定する

※釜井先生の部長就任については了承を得る。副部长については、森先生、山西先生に依頼し、了承を得る。

- ・全国高体連、日本協会正会員、日本協会理事は保留とする。